四季彩旬報

〔発行者〕
四季彩通り
商店街振興組合
〔発行日〕
平成16年1月20日

二〇〇四年の抱負
『メリーゴーランド』を拠点に交流事業展開

四季彩通り商店街
振興組合　理事長
木村　信一朗

明けましてお目出とうございます。振興組合も昨年は大いに飛躍した年でございました。「日本一美しいまちづくりへの挑戦」の一環である「メリーゴーランド」の開店は、情報紙等多くのマスコミに取り上げられ多くの来街者の方々と交流を持つことが出来ました。これは四季彩おかみさん会のお力添えも大であったと、心より感謝申し上げます。今年も日本一事業の第三期事業として「メリーゴーランド」を拠点として多くの交流事業を展開したいと存じます。

さて年初の状況でございますが、例年になく厳しく、私も理事長就任六年目を迎えますが商売が低迷して行くことに対し、地域活性化による集客事業が追いついて行けない現状を思うにつけ、売出し事業の展開も含めチャレンジしていかねばなりません。いずれにしても「自分達のまちは自分達がつくる」の精神は21世紀においては不変であり、現在の低迷挫折感が自分一人だけのものと思わず、団結して地域づくりをしていかなければなりません。

今年もよろしくお願い申し上げ、年頭にあたっての挨拶と致します。

〈閉店の時　パチッ〉

エコ・ショップ四季彩『メリーゴーランド』無事終了

七月十四日にオープンしました『メリーゴーランド』は今年度事業として十一月十四日に無事閉店となりました。運営に援助いただき、リサイクル商品を出店いただき、購入いただきました各位に厚く感謝申し上げます。

『メリーゴーランド』は振興組合が提唱する〝日本一美しいまちづくりへの挑戦〟を具体化する一手段としてのリサイクル活動を実践したものです。会員登録は予想外の一五九名がなされ、オープン以来絶え間なく来店者がありました。市内でも有数の繁盛している店舗ではなかったでしょうか。リサイクル商品の販売はもとより、新聞紙・アルミ缶等の分別回収を行い、会員皆様にリサイクルの意義を御理解願えたものと感じております。

来年度もオープンを目指しております。より良い店舗運営、リサイクル活動が行なえるよう皆様の御指導をお願い申し上げます。

四季彩通り　歳末感謝セール

十二月十五日より三日間、元エコ・ショップ「メリーゴーランド」にて十一店舗の参加のもとに加盟店の食事券、商品、加盟店共通の商品券が当たる抽選会、並びに四季彩通りおかみさん会の「旬の市」が開催されました。

ご来場の方におしる粉をご馳走したり、ゆっくりお茶を飲んで会話を楽しんでいただいたり、また初日にはクリスマスリース手作り教室を開催し、なごやかな雰囲気の中で各自自慢できる作品が完成し大変喜ばれました。

三日間比較的暖かいお天気にも恵まれ、多くの方にご来場いただき好評の内に終えることができました。

〈楽しかったリース教室〉

旬のメディカルサポート

今年はインフルエンザの流行の年？

耳鼻咽喉科 佐藤医院
佐藤良樹

学校などでインフルエンザが流行しているようです。
対策と予防について先生にお話をお伺いしました。

インフルエンザは、普通の「風邪」のなかでも最も激しい症状をあらわす病型です。特徴としては、突然の高熱（38～40度程度）、のどの痛み、頭痛・腰痛・筋肉痛など。ほかにも鼻水やくしゃみ、せき、嘔吐下痢など普通の風邪と同じ症状も出ることもあります。さらに、気管支炎、肺炎、小児では中耳炎、熱性けいれんなどを併発したり、まれに急性脳症を併発して死亡することもあります。高齢者や呼吸器・心臓などに慢性の疾患を持つ人は、重症化することが多いので十分注意する必要があります。

インフルエンザ・ウイルスは、飛まつ感染により流行します。予防対策としては、バランスのとれた栄養と十分な休養、手洗い・うがいの習慣、室内の乾燥に注意、冬場の外出は人ごみを避ける、などがあげられます。また、ワクチンの予防接種は感染の予防や万一感染しても軽くすむのに有効だといわれています。

インフルエンザの流行は、過去10年くらいの傾向をみると、約2～3年ごとに大流行しております。県保健環境センターは、12月末から1月初めまでインフルエンザ患者が急増し、注意を呼びかけております。（1／16）

もしも、インフルエンザにかかったと思ったら、単なる風邪だと軽く考えずに、早めに医療機関を受診し、治療することをすすめます。また家庭では暖かくして休み、栄養価の高い消化の良い食事をし、水分を十分にとり、安静にすることが大切です。現在使われている治療薬としては三種類の抗ウイルス剤が有効とされております。各医療機関では、インフルエンザ迅速診断キットを使用し、鼻汁中のインフルエンザ・ウイルス（A型・B型）を判定し、診断を行い抗ウイルス剤の投薬を行っております。この薬はインフルエンザの特効薬といわれるもので、48時間以内に投薬されないと効果がありません。また、細菌による混合感染により、肺炎、気管支炎などの合併症に対する治療には抗生物質が使用されます。

早めに治療することは、自分のからだを守るだけでなく、他人にうつさないという意味でも大変重要なことです。

第十二回四季彩ミニ講座「八戸屋台村からのまちおこし」

八戸屋台村の仕掛人、中居雅博さんを招き十一月二十七日、古川商工会議所で市内商店街の店主の方々、七十数名の会場いっぱいの参加者の中で開催されました。中居氏は大学卒業後、日本マクドナルドの東京銀座の一号店の店長などを務められた後、実家の中居食品容器に入社し、八戸エコ・リサイクル協議会を設立、リサイク資料館や、地域循環型社会を目指し、割り箸リサイクルや事業系古紙の完全リサイクルを目指した「エコステーション」を開設、そしてリサイクルを考える象徴として、エコ神社を建立したりとその行動力はとても感動しました。八戸新幹線開通と同時に中心商店街に地元の食材を使った、郷土料理店や中華料理店などバラエティーにとんだ「環境対応型屋台村」を誕生させ客席は八席と客同士の一体感を生みだすような、仕掛人のアイディアは最高だと感心しました。

〈中居雅博 氏〉

有限会社 "作造（つくるぞう）"

古川市立病院南病棟売店
御愛顧お願い申し上げます。

耳鼻咽喉科
佐藤医院
院長 佐藤良樹
古川市十日町3の13
TEL 0229-22-0320
0229-22-4700

かかりつけ薬局をもちましょう
「処方せん」を発行してもらいましたら、当保険薬局に処方せんをお持ち下さい。
病院と同じ薬を責任をもって調剤いたします。
十日町調剤薬局
古川市十日町4－20
TEL 22－1760